



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 ホリプロ

コード番号 9667 URL <http://www.horipro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 義貴

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員

(氏名) 安永 和男

TEL 03-3490-4601

四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,426	2.7	425	△11.8	463	△16.2	247	△32.7
23年3月期第1四半期	4,311	△14.3	482	128.8	553	105.3	367	285.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 268百万円 (49.0%) 23年3月期第1四半期 180百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.47	—
23年3月期第1四半期	25.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	25,456	19,928	77.5	1,391.55
23年3月期	26,519	20,008	74.7	1,397.21

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 19,728百万円 23年3月期 19,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	24.00	31.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	7.00	—	12.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期期末配当金の内訳 記念配当 6円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,015	△12.3	586	△41.8	669	△39.4	348	△18.6	24.55
通期	19,469	△7.2	1,378	△36.6	1,532	△34.5	786	△15.9	55.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	14,182,800 株	23年3月期	14,182,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,779 株	23年3月期	5,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	14,177,021 株	23年3月期1Q	14,177,157 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<全般の概況>

当第1四半期における日本経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられたものの、デフレの影響や雇用情勢の悪化の懸念が依然残っております。

当業界を取り巻く環境も、企業の広告宣伝費の削減等の影響を受け、厳しい状況が継続いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、次世代のスターの発掘・育成を図り、根幹であるタレントマネジメントを軸に、そこから派生するさまざまなビジネスを拡大させ、映像、肖像、音楽などに関わる多くの権利を保有する「コンテンツホルダー」として、人々の心に夢や感動を提供するエンターテインメントの創造に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、営業収入44億26百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益4億25百万円（前年同期比11.8%減）、経常利益4億63百万円（前年同期比16.2%減）、四半期純利益2億47百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

<報告セグメントごとの概況>

① 出演事業

出演事業においては、和田アキ子、片平なぎさ、榎原郁恵、船越英一郎などのベテラン勢による安定した活躍に支えられ、松山ケンイチの2012年NHK大河ドラマ「平清盛」の清盛役決定に続き、数多くのCMに出演し、2009年度の連ドラNo.1視聴率を記録したTBS連続ドラマ「JIN-仁-」のヒロイン役を務めた綾瀬はるかが、2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主演に決まるなど、若手タレントに多くの期待が寄せられています。

お笑いタレントでは、TBSテレビ「さまぁ〜ずのヤリタ☆ガ〜リ〜」、テレビ東京「モヤモヤさまぁ〜ず2」などに出演中のさまぁ〜ず、バナナマンなどが数多くのバラエティー番組で活躍しました。

この結果、当事業の営業収入は20億43百万円（前年同期比9.1%増）となり、営業利益は7億15百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

② 映像事業

映像事業においては、テレビ番組では、レギュラー番組の日本テレビ「誰だって波瀾爆笑」、テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」、「お試ししかっ!」などを制作しました。中でも、ホリプロ50周年記念作品として制作し放送された、テレビ朝日ドラマスペシャル「遺恨あり明治十三年 最後の仇討」は、視聴者に感銘を与え優れた放送作品に贈られる放送文化基金本賞を受賞するなど高い評価を受けました。

コマーシャルでは、「永谷園」、「マルハン」など多くの作品を制作しました。

その他、配信分野においては、携帯専用放送局BeeTV「和田アキ子最強バトル!」、「教えてバナナマン」、GyaO!やWiiの動画配信コンテンツなどを制作しました。

この結果、当事業の営業収入は7億39百万円（前年同期比36.6%増）となり、営業利益は57百万円（前年同期比491.2%増）となりました。

③ 音楽事業

音楽事業においては、CDアルバムでは、山瀬まみデビュー25周年記念アルバム「山瀬まみ -25th Anniversary Best Album-」、HI ROCKATION MARKETS初のフルアルバム「ハイロケ」、藤原道山のライブアルバム「讃 -SAN-」、歌うキッチンファーストアルバム「歌うキッチン」、CDシングルでは、和田アキ子のシングル「ff (フォルテシモ)」、May'nのシングル「Scalet Ballet」などが発売されました。

音楽配信においては、板野友美本人が出演するコマーシャルのCMソングとして起用されたシングル「Wanna be now」「愛にピアス」が次々に配信されました。

その他、May'nのライブやエピソードが盛り込まれた新曲CD付きの初のアーティストブック「May'n 1st ARTIST BOOK LIVEALIVE」や、南波志帆が唄やナレーションを担当し、子どもから大人まで愛され続けるチェコアニメのキャラクター“森の精アマールカ”のDVDブック「はじめまして編」「おやすみ編」などが発売されました。

この結果、当事業の営業収入は4億36百万円（前年同期比16.0%減）となり、営業利益は1億8百万円（前年同期比39.2%減）となりました。

④ 公演事業

公演事業においては、舞台公演では、市村正親主演、宮本亜門演出のブロードウェイ・ミュージカル「スウィーニー・トッド」を再演、また毎回SOLD OUTとなるさまぁ〜ずの単独ライブ「さまぁ〜ずLIVE8」を2年ぶりに開催しました。

コンサート公演では、May'nが「ASIA TOUR 2011『UNITE!!』」を、中国（上海、広州）、韓国、台湾、香港、シンガポールで開催しました。

この結果、当事業の営業収入は5億17百万円（前年同期比16.4%減）となり、営業損失67百万円（前年同期は67百万円の営業利益）となりました。

⑤ 小売事業

小売事業においては、ファッション雑貨ショップ「ルートスター」やアクセサリを専門に取り扱う「エクスペリー」にて、トレンドに敏感な女性をターゲットにした商品を、駅ビルを中心に全国で販売展開しています。

また、ベルギー生まれの世界的なカジュアルバッグブランド「キプリング」の日本総輸入販売元として、全国の主要都市の店舗や百貨店、通信販売などで販売しました。

この結果、当事業の営業収入は6億88百万円（前年同期比8.0%減）となり、営業損失1百万円（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の概況>

当第1四半期連結会計期間末における資産は254億56百万円（前連結会計年度末比10億63百万円減）となりました。

流動資産は143億81百万円（同12億78百万円減）となりました。この変動の主なものは現金及び預金の減少（8億90百万円）、受取手形及び営業未収入金の減少（5億46百万円）であります。また固定資産は、有形固定資産の増加（1億94百万円）等により110億75百万円（同2億15百万円増）となりました。

負債は55億27百万円（同9億83百万円減）となりました。流動負債は支払手形及び営業未払金の減少（同4億16百万円）、未払法人税等の減少（同4億6百万円）等により47億74百万円（同9億96百万円減）となり、固定負債は7億53百万円（同12百万円増）となりました。

純資産は四半期純利益の計上（2億47百万円）、剰余金の配当（3億40百万円）等により199億28百万円（同80百万円減）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は77.5%（同2.8%上昇）となり、1株当たり純資産額は1,391円55銭（同5円66銭減少）となりました。

<キャッシュ・フローの概況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末と比較して8億90百万円減少し、92億48百万円となりました。

営業活動により使用した資金は1億35百万円（前年同期比1億55百万円増）となりました。資金の増加要因の主なものは売上債権の減少（5億47百万円）であり、資金の減少要因の主のものは法人税等の支払（6億16百万円）、仕入債務の減少（4億15百万円）であります。

投資活動により使用した資金は有価証券の取得（5億3百万円）等により4億9百万円（同84百万円増）となりました。

財務活動により使用した資金は主として配当金の支払により3億51百万円（同74百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,639	5,748
受取手形及び営業未収入金	2,897	2,350
有価証券	4,199	4,301
商品	642	582
仕掛制作費	265	319
その他	1,086	1,148
貸倒引当金	△71	△70
流動資産合計	15,659	14,381
固定資産		
有形固定資産	2,527	2,722
無形固定資産	341	382
投資その他の資産		
投資有価証券	4,967	4,975
その他	3,163	3,137
貸倒引当金	△140	△143
投資その他の資産合計	7,990	7,970
固定資産合計	10,859	11,075
資産合計	26,519	25,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,692	1,275
短期借入金	1,350	1,350
未払法人税等	708	301
賞与引当金	155	267
役員賞与引当金	99	25
資産除去債務	0	—
その他	1,763	1,554
流動負債合計	5,770	4,774
固定負債		
退職給付引当金	101	104
役員退職慰労引当金	325	335
資産除去債務	96	94
その他	218	219
固定負債合計	740	753
負債合計	6,511	5,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,583	4,583
資本剰余金	4,619	4,619
利益剰余金	11,083	10,990
自己株式	△5	△5
株主資本合計	20,280	20,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△92	△89
為替換算調整勘定	△379	△369
その他の包括利益累計額合計	△471	△459
少数株主持分	200	200
純資産合計	20,008	19,928
負債純資産合計	26,519	25,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収入	4,311	4,426
営業原価	2,857	3,090
売上総利益	1,454	1,335
販売費及び一般管理費	971	910
営業利益	482	425
営業外収益		
受取利息	25	22
受取配当金	8	10
受取保険料	30	0
その他	18	10
営業外収益合計	83	44
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	6	—
貸倒引当金繰入額	1	3
その他	0	0
営業外費用合計	11	5
経常利益	553	463
特別損失		
投資有価証券評価損	7	—
店舗閉鎖損失	—	1
役員退職慰労金	88	—
その他	28	—
特別損失合計	124	1
税金等調整前四半期純利益	429	461
法人税、住民税及び事業税	52	224
法人税等調整額	△1	△18
法人税等合計	50	205
少数株主損益調整前四半期純利益	378	256
少数株主利益	10	8
四半期純利益	367	247

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	378	256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△204	2
為替換算調整勘定	5	9
その他の包括利益合計	△198	12
四半期包括利益	180	268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169	260
少数株主に係る四半期包括利益	10	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	429	461
減価償却費	48	62
受取利息及び受取配当金	△34	△33
支払利息	3	2
売上債権の増減額(△は増加)	263	547
たな卸資産の増減額(△は増加)	△519	6
仕入債務の増減額(△は減少)	△335	△415
前受金の増減額(△は減少)	527	95
その他	△47	△275
小計	335	452
利息及び配当金の受取額	32	31
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△345	△616
営業活動によるキャッシュ・フロー	20	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300	—
有価証券の取得による支出	—	△503
有価証券の売却及び償還による収入	8	400
有形固定資産の取得による支出	△40	△251
無形固定資産の取得による支出	△5	△51
投資有価証券の取得による支出	△697	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	123	0
その他	△14	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325	△409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△269	△340
その他	△7	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276	△351
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△579	△890
現金及び現金同等物の期首残高	9,500	10,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,921	9,248

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	出演	映像	音楽	公演	小売	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,746	532	519	615	742	4,157	154	4,311
セグメント間の内部売上 高又は振替高	126	9	0	2	5	144	21	166
計	1,872	541	519	618	748	4,301	176	4,477
セグメント利益又は損失 (△)	642	9	177	67	7	905	△0	904

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種スクール運営事業、ファンクラブ運営事業、ライセンス事業、劇場運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	905
「その他」の区分の損失	△0
セグメント間取引消去	△44
全社費用(注)	△377
四半期連結損益計算書の営業利益	482

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	出演	映像	音楽	公演	小売	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,914	738	436	516	680	4,287	138	4,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	128	1	—	0	7	137	16	154
計	2,043	739	436	517	688	4,424	155	4,580
セグメント利益又は損失 (△)	715	57	108	△67	△1	811	△55	756

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種スクール運営事業、ファンクラブ運営事業、ライセンス事業、劇場運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	811
「その他」の区分の損失	△55
セグメント間取引消去	11
全社費用（注）	△342
四半期連結損益計算書の営業利益	425

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。